

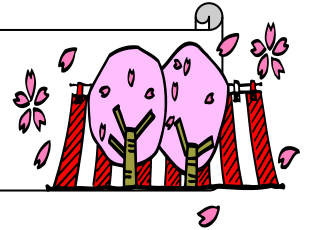
ゴ ク ロー サン  
**5 9 6 3** **ハート通信**

VOL. 52

**竹原運輸株式会社**

発行日 平成 25 年 3 月 15 日

★事務所スタッフからの一言



皆様、日頃は格別のご愛顧を賜りまして誠にありがとうございます。心より感謝を申し上げます。

最近では社員が高齢化してきたため、人材の確保のため、面接を数多くしています。

面接のポイントは、能力よりも人柄にウエイトが移ってきています。

会社には、「誰の仕事でもない仕事」、というのがあります。

掃除をしたり、花に水をやったり、整理整頓したり、人を助けたり、応援したり・・・。

私の敬愛する内田樹さんは、日本に「大人」を育てる風土がなくなったと言っています。

以下 内田樹さんの文章から引用

「大人」というのは、ものごとを自分の個人的な基準に基づいて判断し、その責任をひとりで引き受けることのできる人のことです。

でも、それだけではありません。「大人じゃない人たち」の不始末や手抜きを黙って片付ける人のことです。

「子どもたち」よりも「大人」である分だけ「よけいな仕事」をしなければいけないということがわかっている人のことです。

そういう「大人」が一定数いないと共同体は長くは保ちません。でも、そういう「大人」を育てるための教育システムが存在しないのです。

引用終わり

そういう「成熟した大人」が育つ環境創りが、これからの会社の使命だと思っています。

だから能力思考の強い人は、ちょっと共同体に馴染みにくいので、ご遠慮願うこともあります。人の採用は難しいですね・・・。

竹原和行

昨今、マスコミ等で大きく報道されていますが、燃料単価が毎週値上がりしています。

昨年暮れから当社仕入価格で、1L当り15円程度の値上がりです。

たとえば、福井～大阪方面の大型車運行で、どれ位の経費増になるのか？  
試算してみましょう。

大型車の1リッター当りの走行距離は約3.5km

関西方面走行距離約200km

$$200 \div 3.5 = 57L$$

関西方面に走行しますと57L燃料が必要で、1Lにつき15円の値上がりですから

$$57 \times 15 = 855 \text{ 円}$$

大変な経費増になっていることが容易にお分かり頂けると思います。

社内では3月1日より社内省エネ走行コンテストをスタートしました。

平成23年9月に第一回を開催してから今回、二度目のコンテストになります。

全員で取組み、会社全体で3%以上の燃料費削減を目指しています。

ポイントはスピードを控えることです。そのことが、安全走行にも繋がります。

その為には、乗務員一人ひとりの体調管理が非常に大切になります。

体調が良くないと集中力がなくなり、省エネ走行が困難になります。

日頃から省エネ走行してる上に更なる努力を続けようと全員頑張っています。

社長 竹原 正和



## 《トレーラー乗務員》

当社には、唯一の 27 トン積の床フラットのトレーラーを保有しています。このトレーラー輸送は、梱包された商品、バラ梱包他、多種多様の荷姿の商品が輸送出来ます。トレーラーの運行には、とてつもない荷重がかかって来ます。乗務員は一瞬たりとも気の抜けない高い集中力が求められる乗務でもあります。

運行中にはトレーラーに重量がのしかかって下り坂などは自然と加速がついてしまいます。背丈の高い商品は、重心が高くなってカーブや交差点などは惰性で曲がることは絶対に許されません。急ハンドルを避けるために、まずスピードを十分に落として走らなければならないのです。

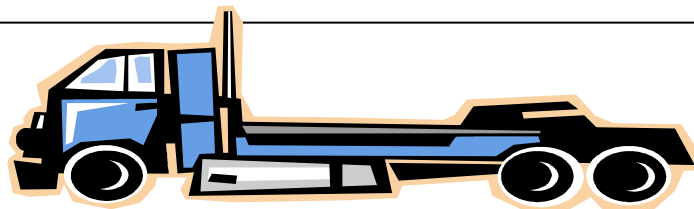
トレーラーの安全運転には確実なる積付けが不可欠にもなって来ます。重い物は、荷台の中央から後部へ、軽い物は前方積込と毎日の運行には配置を決めて積込ます。お客様の大切な商品を輸送するために荷を積み終えるまで何時間と時間を要します。荷崩れを起こさず、安全な運行が出来るようにダブル・トリプルチェックが必要になって来る訳です。その慎重さがトレーラーを取扱い乗務する仕事がより次元の高いものになって来るのです。

荷主様は、様々なシーンで乗務員の技能、輸送技術をしっかりと見ておられます。高度な運行スキルは、輸送の安全の基本であり、荷主様のコンプライアンスにもつながって行くものだと思います。

毎回ベストな輸送を行い、大切なお客様の商品を無事にお届けするにはこのように高い技能、技術が重要になって来る訳です。

これの「安全」こそ、すべての輸送する乗務員の最大の名誉でもあります。常に私達は、大切なお客様の商品を輸送しているという責任感と誇りを乗せて今日もどこかで安全運行、安全輸送を行っています。

橋本 勝



## 《現場力》

仕事に対するシステム化、標準化が叫ばれて長年になりますが、我々の業界は、労働集約型であり、このシステムありきの思想ですべてを管理するという事は、大きな間違いでないかと思うようになりました。

机上の理論だけでは身につけられない。語れない業界でもあります。基本となるのは、現場の実情を十分に理解しながら自らの手で感じとって行くものではないかと思えます。

配車一つとってもあくまで「人ありき」の世界であり、どうすれば乗務員が今日は「安全な運行」が出来るかを考えながら、配車を組み上げ、さらに乗務員、車両、荷物の最適な動きを自ら組み立てて、考えて行くことが大前提になって来るのです。

そして、初めて一つの配車（行き先）が決まって行くからです。このように人が人に指示することが基本のルールであると思えます。何事も自分が率先して行動すれば皆がついて来るという気概がここで必要となって来るのです。人が育つ第一歩は、失敗や経験を積んで人は育って行くものだとも思っております。

コンプライアンスにしても、リスクマネジメントにしても自ら身を持って経験して行かなければ、いざという時に現場の乗務員に最適な指示が出来ません。逆に間違った指示が出てしまいます。間違った指示は、我々には一切通用しないのです。お客様の大切な商品を指定日には必ずお届けしなければならないという使命があるからです。

当社は、ハイテク化の人財（若者）、アナログ的人財（高齢者）の両面でタッグを組み、現場力を一層強化なものとしながら何事もコツコツと毎日を積み重ねながら、現場力の強い人材を育成して行かなければならないと思っております。

齋藤 洋一

今年の冬は寒かったですね。特に寒かったですね。積雪は少なかったと感じているのですが朝晩の冷え込みは相当なものでした。早朝や夕暮れ時の路面凍結が怖いですね。福井弁で言いますと「つるつるのびっかびか」若しくは「てっかてか」と表現します。話し手の顔がひきつっているときは相当怖い体験をしたのだと感じとれます。当社のトラックは勿論、全てスタッドレスタイヤに交換してありますし社員の通勤用乗用車もスタッドレスタイヤに換えてあります。私の通勤車もスタッドレスタイヤです。私の車は4WD車でして「雪道なんてへっちゃら」と思っていたし実際そうだったのですが、今年の雪は明らかに違いました。「つるつるのびっかびかでてっかてか」でしたもん。毎日30kmの道のりを1時間かけて通勤する私にとって車内は音楽やラジオの情報で楽しい時間でもある筈なのですが何日かは顔がひきつっておりました。例年と比べても雪質が違いましたね。スタッドレスタイヤを装着しているからと過信したり安心してはいけません。雪道には雪道のルールがあります。運転の基本に戻るのが一番ですね。

① スピードは出さない。 ② 車間距離を多めに取る。 ③ 早めにブレーキ。

雪道の備えと①②③で安全運転いたしましょう。

今年も桜の便りがすぐそこまできております。冬のトンネルを抜けると暖かい春がやってきてくれます。四季の移ろいと人の心の移ろいに感謝ですね。

雪が融けても安全の心は解けません。春になっても安全運転と誓う私でした。

(来年は氷に効くらしい新型スタッドレスを買おうかな)



池上則和

いつもお世話になりありがとうございます。

季節は春になり、今年も色々な場面に新しい生活をスタートした1年生が仲間入りしてきます。

毎年、身の周りの人に注意喚起や温かい目で見守りましょうと声を掛けてきました。今年もそれ自体に変わりはないのですが、自身は新しい事に挑戦できていません。

『どんな事でも10年続ければ物になる。』ラジオから聞こえた言葉で、どんな話題で誰が言ったのか全く判りませんが、この言葉を思い出すたびに私は『10年間だけチャレンジしても良い。』と勝手に解釈を変えて考えました。

良い行いを一生続けられればそれに越した事はないのですが、同時に『ムリムリ』と思う現状だけでも良いから変えられる気がしています。

とりあえず第一難関の3日目ぐらいは継続してみます。

辻川 伸吾

待ち遠しかった春がやっときたという感じですが、同時に花粉と黄砂とPM2.5 もやって来て、晴れの日には遠くの山が霞んで見える日が続きますが、皆様お元気でしょうか？

この通信を書いているのは、3月初旬で弊社の5963引越センターも徐々に繁忙期に入っていきますが、今はそれに向け毎日見積もりに追われている状況です。そんな中、先日あまりに驚いた出来事があったのでここでご紹介したいと思います。それは見積もりに伺った時に、そのお客様から聞いた見積り金額についてです。

そのお客様の引越詳細は

- ・ 転勤に伴い福井市～新潟市まで 380 km程の移動
- ・ 引越日は3月末の土日
- ・ 荷物量は夫婦の身の回りのものだけで2t車で十分

その内容で大手引越センターに見積もりを依頼したところ、引越金額がなんと70万円だったそうです。ただ引越日が4月中旬以降の繁忙期以外にしてもらえるなら15万円です。ただ引越日が4月中旬以降の繁忙期以外にしてもらえるなら15万円です。それでお客様があまりの高額に驚きと、日程を変更するだけでそれほど違うものなのかという不信感を持った為、弊社に見積もりを依頼され弊社にて常識的な料金にて受注させて頂きましたが、私もそれを聞いて本当に驚きました。

引越料金については、その会社によりサービス内容や料金算出方法が違うため料金にある程度のバラつきがありますが、ありえない金額だと思います。70万なら70万でいいのですが、たぶんその営業の方はその引越の日付を変えてもらう為か、引越自体を断る為にそういう金額を提示したのだらうと思います・・・

引越業務は専門的な引越センターはもちろん一般貨物専門の業者、路線貨物の業者などほとんどの運送会社が取扱っています。引越の際は、一社だけでなく、二、三社から見積もりを取り、**信頼のできる会社**を選ぶことがとても大事なことです。見積もりにこられた方から、その会社のサービス内容や十分な作業の説明をうけ、納得をした上での契約をお勧めいたします。また、一般的に信頼できる業者とは国土交通省が認定する『安全性優良事業所』Gマークを取得し、環境保全取り組みを実施し『グリーン経営認証』に登録されている会社だと安心できると思います。ちなみに弊社はどちらも取得、登録されておりますので、引越のご用命は **5963 引越センター** へ宜しく願い致します。

大橋 哲夫



3月に入り、暖かく過ごしやすい季節となりました。過ごしやすい季節になったと同時にアレルギーのある方にとっては辛い季節です。花粉症や黄砂アレルギー、最近ではPM2.5も話題となっています。

花粉症や黄砂アレルギーは、目のかゆみ、頭痛、鼻詰まり、体のだるさ、筋肉痛等人によって症状はちがうみたいですが、大変辛いです。

そもそもこういったアレルギーはなぜ起こるのか？という事になるんですが、それは自己の免疫が花粉や黄砂に対して異常に反応しているためだそうです。自己免疫疾患といわれるやつです。

年々、花粉症や黄砂アレルギーになる方は増えているみたいですが、治る方は少ないです。でも治る人もいます。それはなぜでしょうか？

みなさんは松と松食い虫の話は御存じでしょうか？松と言えば敦賀の気比の松原は有名で、観光名所にもなっていますし日本三大松原の1つだそうです。その松が昔、虫に襲われて枯れてしまうという事件があったそうです。その時、松職人といわれる方達が何とか食い止めないといけないと考え殺虫剤をまいたそうです。そうすると無事松食い虫はいなくなり松が枯れるのも食い止める事ができたそうです。しかし1年後、また松食い虫が現れまた松が枯れてしまいました。

そこで今度は根本の原因を考えました。そもそも松食い虫は昔からいました。しかしなぜ急に松は松食い虫に襲われ枯れてしまうようになったのか？原因を調べていくと、松が植えられているところの土が痩せて松が栄養を十分にとる事ができなくなっていました。そのため松食い虫を寄せ付けないための松ヤニを出すことができず虫に襲われ枯れてしまっていたそうです。原因がわかり、土に栄養を与えたところ松は枯れる事がなくなったそうです。

この松と松食い虫の話は人間にも当てはまります。花粉症や黄砂アレルギーとは名前は違うかもしれませんが昔からありました。しかし食生活の変化や環境の変化により栄養が十分にとれなくなって自己免疫機能が衰えてきています。花粉症などで病院に行って薬をもらえば症状は緩和されますが一年後にはまたでできます。これは松の話で言うと殺虫剤をまいただけ。目の前の起こってる事に対して対処しただけです。根本の原因は栄養不足による自己免疫機能の低下なのでバランスのとれた食生活や最近ではサプリメントもさまざまな物がでてるので、それらで補ってやるのもいいかもしれませんね。

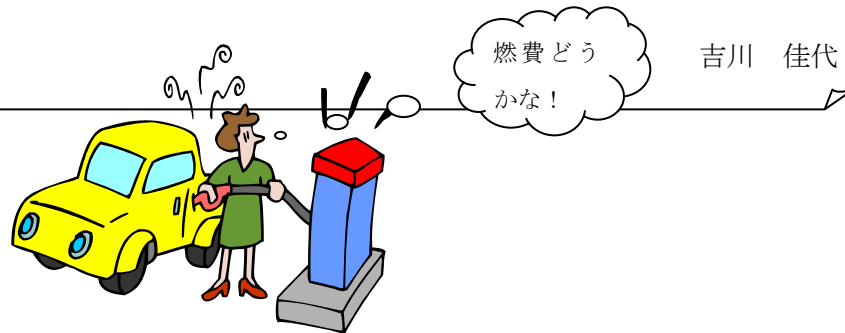
谷口 学



皆様お元気でしょうか。今年も早や 3 ヶ月過ぎようとしております。皆様は、花粉、黄砂等大丈夫でしょうか。

話は変わりますが、当社において社内省エネコンテストが始まっております。私は、社用車を運転するわけではないので参加しておりませんが、ちょうど 2 月からマイカーが変わったので私も自分の車でチャレンジをすることにしました。(息子が乗っていた車が割当られ、スポーツタイプのためか以前乗っていた車より燃費が悪く、ガソリンも高騰しているのでチャレンジ)

皆様も気を付けて運転していると思いますが、私も今までよりさらに燃費を気にかけて運転しております。まず、急発進、急ブレーキはしない事。エンジブレーキを有効に活用して運転する事。スピードを出さない事。アクセルを踏んだ時回転数を上げないように運転する事。アイドリングストップ。まずは自分の運転で出来ることでチャレンジしています。今度給油が 3 回目になるのですが、前回より走行距離が伸びているような気がしますので次の給油が楽しみです。



次回お楽しみに・・・